

KINGCA WEEK 2023 に参加して

横浜市立大学附属市民総合医療センター
消化器病センター外科
佐藤 渉

このたび日本胃癌学会に参加助成をしていただき、KINGCA week 2023 に参加させていただきました。コロナ禍のため長らく海外の国際学会に参加できませんでしたので、個人的には4年ぶりのKINGCA weekの参加となりました。

学会の概要ですが、9/14-16の3日間、会場はソウル市のロッテホテルソウルで行われました。約30カ国から延べ900人弱の参加者が集い、会場ではコーヒーや軽食が配られ、参加者もとてもリラックスした表情で発表、聴講されており、とても盛り上がった学会となりました。韓国の著名な先生方だけではなく、日本のハイボリュームセンターから参加された先生方ともお会いすることができ、とても充実した3日間を過ごすことができました。

私は初日に行われたPLENARY ORAL PRESENTATIONで2022年にAnnals of Surgical Oncologyでpublishした”Is prophylactic splenectomy necessary for proximal advanced gastric cancer invading the greater curvature with clinically negative splenic hilar lymph node metastasis? A multi-institutional cohort study (YCOG2003)”を要約したものを発表させていただきました。この研究は、大弯浸潤を伴う上部胃癌に対する脾摘はcontroversialであることに着目し、「術前のCTで脾門リンパ節が腫大していない症例に対する予防的脾摘は必要なのか」というCQを明らかにするためにYokohama Clinical Oncology group (YCOG)による多施設共同観察研究を行いました。脾摘群では病理学的脾門リンパ節転移頻度が3.0%で、脾温存群では術後脾門リンパ節転移再発頻度2.7%と低く、両群間の無再発生存期間・全生存期間ともに有意差を認めませんでした。脾摘群は感染性合併症が多く、術後在院日数が長い結果であったことから術前に脾門リンパ節が腫大していない症例に対する予防的脾摘は推奨されないと結論づけました。おかげさまでこの発表で”Best Oral Presentation Award”をいただくことができました。

他施設の発表も非常にレベルが高く、刺激を受けました。全体的な印象として韓国の先生方の英語はとても流暢でかつ1施設の症例数が非常に多いことから解析内容の信頼性も高くとてもインパクトのあるものばかりでした。同じPLENARY ORAL PRESENTATIONではKim先生が国内外の施設と共同し手術リスクの少ない症例を対象とした合併症頻度を算出することにより、各術式のベンチマークとなる周術期成績を発表されておりました。このデータを用いることにより各施設の手術成績が標準と逸脱していないかを評価することが出来るのでとても有用な研究であると感じました。SYNPOSIUM 3ではCatholic UniversityのSeo先生が国内の45%の胃癌を6施設で手術していることを発表されており、1施設の

症例数の多さに改めて驚きました。対照的に熊本大の馬場教授が国内の胃癌診療の状況を NCD data を用いて発表されておりましたが、胃癌の症例は多くの施設に分散されており改めて症例の集約化の必要性を感じました。そのためには今回発足した日本胃癌学会認定施設制度をうまく活用していく必要があると思います。PLENARY LECTURE では早期胃癌に対するセンチネルリンパ節郭清による縮小手術の定型的胃切除に対する非劣性を検討した SENORITA 試験の長期成績が公表され、残念ながら非劣性を示すことができなかったもののうまく症例を絞れば将来的に導入されるべき術式であると感じました。SYMPOSIUM13 では国立がんセンター東病院木下先生のご発表された日本胃癌治療ガイドラインの概要、今後の展望と Seoul National University の Kong 先生の発表された韓国胃癌ガイドラインの概要の対比が興味深く、韓国のガイドラインは日本よりさらに evidence based に厳しい印象でした。Closing lecture では本学会の President である Kim 教授より腹膜播種に対する腹腔内化学療法のこれまでの歴史について学ぶ事ができ大変勉強になりました。

このような充実した学会に参加することができ、改めて日本胃癌学会に感謝を申し上げます。ぜひまたこのような国際学会に参加したいと思います。ありがとうございました。

